

丹後・丹波



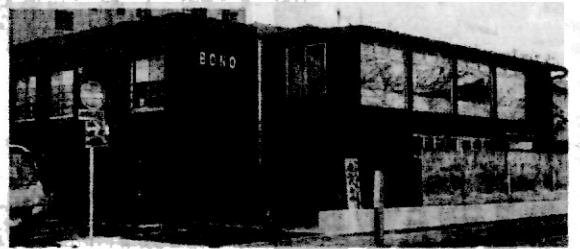
「BONO」で働く予定の障害者らは竣工式で「がんばるぞ」と気合を入れた

働く

まいる福祉会「BONO」

海辺のカフェで

障害者の働くカフェとショップ（マルシェ）、弁当店の入ったワークショップほのぼの屋「BONO」が舞鶴市浜に完成し、30日、竣工式があった。5日にオープンする。社会福祉法人まいる福祉会が、海岸沿いの「しおじ通り」にあった海上保安学校の元研修施設の土地と建物を買取り全面改修した。鉄筋2階建て延べ630平方メートルで、総事業費は1億9600万円。市と日本財団から補助金を受けた。就労する障害者は20人で、職員は7人。2階のカフェ（55席）は舞鶴湾を望む大きな窓がある明るい空間



黒でまとめられた「BONO」の外観。2階右側はカフェの大きな窓＝いずれも舞鶴市

5日開店、障害者の希望に

気で、看板メニューは野菜や果物など4種類のスムージーとパンケーキ。1階のマルシェでは手作りスイーツのほか、米や近隣施設の製品も販売する。弁当店は配達が主で、来年度から本格営業する予定。式では、責任者の内海あきひさんが「親に頼らず自立できる給料を出せる施設を目指したい」と述べ、障害者のスタッフが一人ひとり決意を述べた。長柄光徳さん（37）は「福祉会が運営する」レストランの裏方から希望してきた。カフェで接客をがんばりたい」と張り切っていた。営業は午前10時～午後6時で木曜定休。ディナー（15人以上）は予約制。問い合わせはBONO（077-365-3388）。（福祉会）